

どうなっているの？

令和4年度

旭川市の決算状況

決算は、4月から翌年3月までの1年間にどのような収入があり、何にどれだけお金を使ったのかという結果です。令和4年度の決算と財政の状況をお知らせします。
【詳細】財政課 電話25・5672



新型コロナウイルス感染症と物価高騰に関する対策 204億6,432万5千円

医療・保健対策	79億3,763万2千円	PCR検査やワクチン接種体制の確保、自宅待機者への療養セットの配布など
市民生活対策	5億1,944万5千円	寿バスカード利用時の乗車料金の無償化、福祉タクシー乗車券等の追加交付など
経済・物価高騰対策	120億724万8千円	住民税非課税世帯、子育て世帯等への給付金の支給、暖房用灯油購入費等の助成、休業等事業者への支援金の交付など



一般会計

健康づくりなど市の仕事を行うための基本的な経費についての会計です。道路や公園の整備、学校の建設、福祉事業、市民活動の支援、ごみ処理、

収入 1,909億6,860万6千円
(前年度比 4億5,617万8千円減)

国庫支出金 …… 523億3,883万1千円 **27.4%**
個別の事業ごとに、国から交付されるお金

市民1人当たりの市税収入は **12万6千円**☆

市税 …… 404億8,117万8千円 **21.2%**
市民税、固定資産税、軽自動車税など

地方交付税 …… 342億7,093万8千円 **18.0%**
市の財政力に応じて国から交付されるお金

市債 …… 155億3,415万6千円 **8.1%**
公共施設の建設時などに借入るお金

道支出金 …… 150億9,562万5千円 **7.9%**
個別の事業ごとに、北海道から交付されるお金

その他 …… 332億4,787万8千円 **17.4%**
貸付金の元利収入、施設の使用料など

☆今年4月1日現在の人口322,527人で計算。

支出 1,869億9,246万8千円
(前年度比 27億6,428万2千円増)

市民1人当たりの支出額は **58万円**☆

民生費 …… 801億5,230万8千円 **42.9%**
生活保護や高齢者・障害福祉等の各種福祉事業や子育て支援など

職員費 …… 181億9,102万8千円 **9.7%**
市職員の給料、退職手当など

公債費 …… 172億9,952万1千円 **9.3%**
市が借りたお金の返済金

衛生費 …… 167億9,103万8千円 **9.0%**
保健所の運営、ごみ収集・処理など

土木費 …… 154億3,681万4千円 **8.2%**
道路・公園の整備、除排雪など

商工・農林水産業費 …… 136億6,245万4千円 **7.3%**
商工業・農林業の活性化など

総務費 …… 127億5,182万6千円 **6.8%**
新庁舎の整備、税・戸籍業務など

その他 …… 127億747万9千円 **6.8%**
議会費、消防費、教育費など

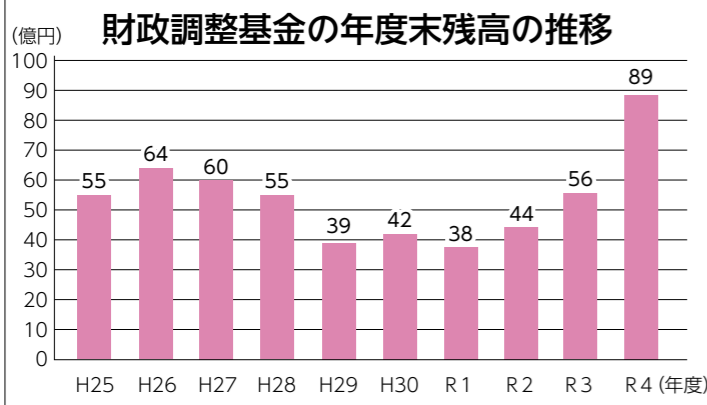
収入と支出の差引額 **39億7,613万8千円**…①
このうち、令和5年度に繰り越した事業に使う額 **9,378万9千円**…②

①から②を差し引く

実質的な収支額 38億8,234万9千円…③

市の貯金の状況は？

財政調整基金は、予期せぬ減収や災害などの不測の支出に備えるための市の貯金です。令和4年度は取り崩さなかったため、年度末残高は前年度より増加して89億円になりました。
※条例に基づき、③の半分(19億円)を積み立てたため、同5年6月時点の残高は108億円です。



特別会計

市民の皆さんが納めた保険料等によって事業を運営するなど、特定の収入を特定の支出に充てるため、一般会計とは別に設けている会計です

会計名	収入	支出	収入支出差引額
国民健康保険事業	349億5,286万7千円	346億2,499万6千円	3億2,787万1千円
動物園事業	14億3,548万8千円	14億3,548万8千円	0円
公共駐車場事業	9,191万3千円	9,191万3千円	0円
育英事業	1億6,736万7千円	1億6,471万5千円	265万2千円
介護保険事業	367億9,806万7千円	360億3,453万6千円	7億6,353万1千円
母子福祉資金等貸付事業	3億7,039万9千円	1億2,708万3千円	2億4,331万6千円
後期高齢者医療事業	56億4,390万7千円	56億4,039万8千円	350万9千円
合計	794億6,000万8千円	781億1,912万9千円	13億4,087万9千円

公営企業会計

地方公営企業法の適用を受け、民間企業のように利用者からの利用料などによって事業を行う会計です

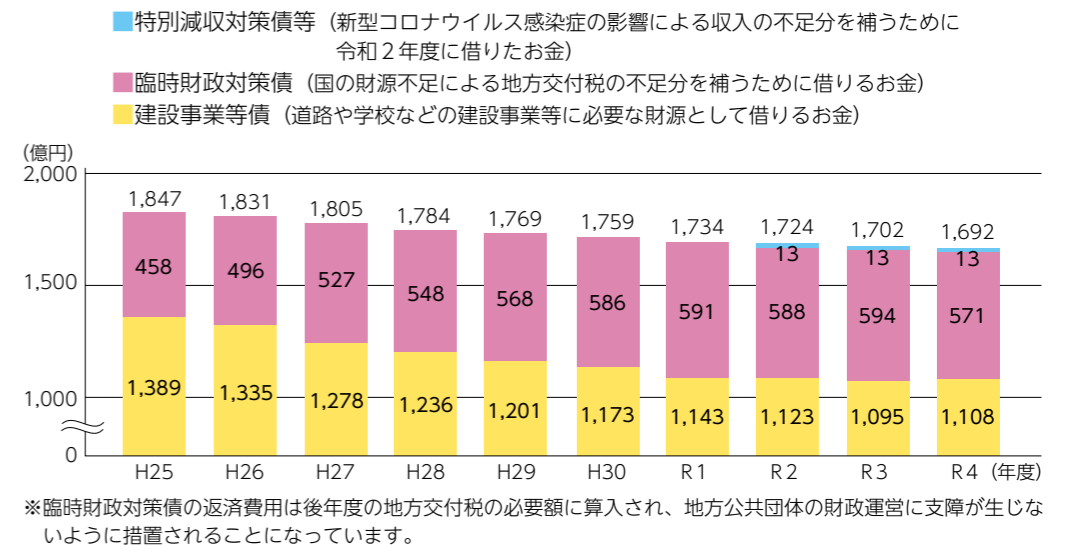
会計名	区分	収入	支出	収入支出差引額
水道事業	収益的	65億1,122万2千円	55億5,701万7千円	9億5,420万5千円
	資本的	23億4,472万3千円	59億7,669万1千円	△36億3,196万8千円
下水道事業	収益的	89億8,928万8千円	84億1,797万9千円	5億7,130万9千円
	資本的	35億6,645万3千円	65億6,820万6千円	△30億175万3千円
病院事業	収益的	127億1,978万5千円	120億6,989万円	6億4,989万5千円
	資本的	15億2,267万5千円	18億9,795万9千円	△3億7,528万4千円

※収益的収入・支出＝水道料金、下水道使用料、病院診療報酬などの収入と、人件費や維持管理費、減価償却費、借入金の利子など事業の運営に必要な支出です。
※資本的収入・支出＝施設や設備の建設改良などの支出と、その財源となる企業債などの収入です。
※△は不足額。資本的収支の不足額は内部留保資金で補填しました。

市の借金の状況は？

市債とは、市が公共事業などを実施するための借金のことです。市債には、資金を調達する他に、世代間の負担を公平にする役割もあります。
令和4年度は新庁舎の整備に伴う借入れで、前年度より建設事業等債は増加したものの、市債残高全体では減少傾向です。

市債の年度末残高の推移 (一般会計)



※臨時財政対策債の返済費用は後年度の地方交付税の必要額に算入され、地方公共団体の財政運営に支障が生じないように措置されることになっています。